

レジメン名称	1コース	催吐性リスク
PLD(リポソーマルドキソルビン)	28日間	軽度催吐性リスク

滴下順	薬剤	用量	ルート	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
1	デキサメタゾン 5%ブドウ糖	6.6mg 100mL	メイン	30分	●																											
2	リポソーマルドキソルビン 5%ブドウ糖	50mg/m ² 250mL	メイン	2時間	●																											
3	5%ブドウ糖	100mL	メイン	30分	●																											

Infusion reaction予防のため、投与速度は1mg/minを超えないよう注意。

Infusion reactionは投与30分以内に発言することが多いため特に注意する。

初回投与時の選択の目安

検査項目		基準
全身状態	ECOG	0~2
骨髄抑制	白血球数	3,000以上12,000/ μ L未満
	好中球数	1,500/ μ L以上
	ヘモグロビン	9.0g/dL
	血小板数	100,000/ μ L
肝機能	血清AST,血清ALT	施設正常値上限の2.5倍以下
	血清ALP値	施設正常値上限の2.5倍以下
	血清総ビリルビン値	1.2mg/dL未満:通常量
		1.2~3.0mg/dL未満:通常量の3/4(25%減量)
	3.0mg/dLを超える:通常量の1/2(50%減量)	
腎機能	血清クレアチニン値	施設正常値上限の1.5倍以下
心機能	LVEF値	50%以上
	心電図	正常又は無症状かつ治療を必要としない程度の変化
	NYHA分類による心機能評価	心疾患がない、又は心疾患を有するがNYHA分類 I

次コース開始判断の目安

検査項目		基準
全身状態	ECOG	0~2
骨髄抑制	好中球数	1,500/ μ L以上(Grade1以下)※基準を満たすまで最長2週間延期
	血小板数	75,000/ μ L(Grade1以下)※基準を満たすまで最長2週間延期
肝機能	血清総ビリルビン値	1.2mg/dL未満
非血液毒性	手足症候群	Grade1以下 <div style="border-left: 1px solid black; padding-left: 10px; margin-left: 20px;"> Grade3, 4の本事象を経験していない場合: 減量なしで投与再開 Grade3, 4の本事象を経験している場合: 25%減量の上、投与再開 </div> ※上記基準を満たすまで最長2週間延期 最長2週間延期してもGrade2の場合: 25%減量の上、再開
	口内炎	

副作用による減量の目安

検査項目		減量を要する基準	投与量	
骨髄抑制	好中球数 (全好中球数)	持続性の好中球減少(好中球数500/ μ L未満が7日以上継続するか、本剤投与後本剤投与後22日目までに改善しない場合)	25%減量 又はサイトカイン (G-CSFなど)併用	
	血小板数	血小板数25,000/ μ L未満が認められた場合		
肝機能	血清総ビリルビン値	1.2~3.0mg/dL未満	25%減量	
		3.0mg/dLを超える(本剤との因果関係がない場合)	50%減量	
非血液毒性	手足症候群・口内炎	Grade3,4	Grade2以下に回復	25%減量
その他の副作用		Grade3,4	Grade2以下に回復	25%減量

投与中止の目安

検査項目		次コース投与時	中止を要する基準
心機能	LVEF値	45%を下回った時、又はベースラインよりも20%以上低下した時	
肝機能	血清総ビリルビン値	3.0mg/dLを超える	本剤との因果関係が否定できない場合
非血液毒性	手足症候群・口内炎	Grade3,4	最長2週間延期してもGrade2以下に軽快しない
その他の副作用		Grade3,4	最長2週間延期してもGrade2以下に回復しない